

京都市交響楽団コンサートマスター 泉原隆志と仲間たちが奏でる音の贈り物



ヴァイオラ
ブルクハート・スィーグル

ミュンヘンフィルハーモニー交響楽団副首席奏者

チェロ
ルドヴィート・カンタ

元スロバキアフィルハーモニー首席奏者
アンサンブル金沢首席奏者

ヴァイオリン
泉原 隆志

京都市交響楽団コンサートマスター

ヴァイオリン
石原 悠企

読売日本交響楽団首席奏者

泉原隆志と仲間たち

Takashi Izuhara and Friends

F.ハイドン 弦楽四重奏曲 ニ長調 作品76-5

Franz Joseph Haydn String Quartet D major Op. 76 No. 5

E.シュルホフ 弦楽四重奏のための5つの小品

Erwin Schulhoff Five Pieces for String Quartet

A.ボロディン 弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調

Alexander Porfir'yevich Borodin String Quartet No. 2 in D major

2026 5/20 [水] 開場 17:30
開演 18:00

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

アクセス/「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>

チケット
発売日

3/1 [日]

入場料 | 【全席指定】5,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱 | "Violin tree" [email] izuharamidori@gmail.com [Tel] 080-5024-9365

泉原隆志と仲間たち

Takashi Izuhara and Friends

泉原 隆志 (ヴァイオリン)

Takashi Izuhara



東京で生まれる。桐朋女子高校音楽科(共学)首席で卒業。桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、ディプロム取得。その後、ブリュッセル王立音楽院に留学。ロームミュージックファンデーション、文化庁芸術家在外研修員として更に研鑽を重ね、ハンブルク国立音楽大学大学院を首席で卒業しディプロム取得。これまでにアンナ・

ペレック、原田幸一郎、イゴール・オイストラフ、ピョートル・モンテアヌの各氏に師事。「アンサンブル・カメラート」「トリオ・スペリオール」「KYOTO STRINGS」を結成し、ソロ活動のみならず、室内楽奏者としても注目を浴びている。2009年より京都市交響楽団のコンサートマスター、京都市立芸術大学非常勤講師。2012年京都市芸術新人賞を受賞。2019年京都府文化賞奨励賞を受賞。

石原 悠企 (ヴァイオリン)

Yuki Ishihara



読売日本交響楽団首席第2ヴァイオリン奏者。桐朋学園大学音楽学部を経て、ベルリン芸術大学ヴァイオリン科の学士課程・修士課程をともに最高成績で修了。その後、同大学指揮科に在籍。2019~21年バイエルン放送交響楽団のオーケストラ・アカデミーに所属。スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、ベートー

ヴェン国際室内楽コンクール特別賞など国内外のコンクールで多数受賞。室内楽奏者として東京・春・音楽祭、スウェーデンのジュリタ音楽祭などに出演するほか、ベルリンのピエール・ブレーズ・ザールでの公演ではクラリネット奏者で作曲家のJ.ヴァイトマン氏と共演し好評を博した。近年は客演コンサートマスター、客演首席奏者としても日本各地のさまざまなオーケストラの公演に出演。また、作編作曲家としても多数の演奏家・団体との共演や音楽制作に携わっている。

ジャパン・ナショナル・オーケストラ コアメンバー。

ルドヴィート・カンタ (チェロ)

Ludovít Kanta



スロヴァキア出身。ブラチスラヴァ音楽院、ブラハアカデミー卒業。1980年ブラハの春国際コンクール第2位。スロヴァキアフィルハーモニー管弦楽団チェログループのコンサートマスター、後にオーケストラアンサンブル金沢首席、愛知県立芸術大学客員教授などを経て現在はフリーランスアーティストとして活動中。

2010年岩城宏之賞を受賞。2012年スロヴァキア共和国外務省よりゴールド・メダル受賞。2018年スロヴァキア共和国外務省より親善特使の称号を授与。2023年日本国より旭日単光章受章。

ブルクハート・スィーグル (ヴィオラ)

Burkhard Sigl



5歳よりヴァイオリンを始める。St.シュテファン音楽高校在学中より、ヴァルター・ドール氏、リディア・ドゥブプロスカヤ氏に師事。

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学ヴィオラ専攻にてユルゲン・ガイゼ教授、トーマス・リーブル氏のもとで学び、最優秀の成績で卒業。卒業後は同大学と講師契約を結ぶ。トラディヴェリ六重奏団、スィーグル三重奏団、

シュタドラー四重奏団、ジョヴァンニ四重奏団、ルティス・ヴィオラ・アンサンブルなど、室内楽を中心に幅広く活動。長年にわたりシャンドール・ベークとともにカメラータ・ザルツブルクの奏者を務め、1998年にハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団(現・ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団)首席奏者に就任。2001年よりミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団に在籍し、2004年6月から副首席ヴィオラ奏者を務めている。